

「第14回 JICE 研究開発助成成果 報告会」の報告



沼尻 恵子
情報・企画部
上席主任研究員

JICEでは、住宅・社会資本整備に係わる先進的な研究・技術開発に対して助成を行い、より良い国土の利用・整備又は保全に寄与することを目的として、研究開発を支援する助成制度を平成11年度より実施しており、平成24年度までの15年間で延べ194件の研究に対し助成を行っている。

その研究成果を社会へ還元する方策の一つとして、研究開発助成の成果報告会を開催しており、今年度で第14回目を迎えたところである。第14回成果報告会は、平成26年5月29日(木)にJICE会議室において開催し、平成24年度に採択され、平成25年度に実施した研究成果について報告(14研究)がなされ、会場からの活発な質疑があった。これらの研究の成果概要、発表資料についてはJICEホームページの研究開発助成事業で掲載しているので、あわせてご覧頂きたい。

本成果報告会については、土木学会認定の継続教育(CPD)プログラムの認定を受け、公開にて実施している。今回は外部から50名を超える参加があり、新たな技術への関心が寄せられた。



写真 成果報告会 会場の様子

表 成果報告された研究課題一覧(発表順：敬称略)

	研究課題名	研究者名(代理発表者名)
1	歴史災害ハザードマップ作成のための文献史的アプローチ	弘前大学大学院地域社会研究科 客員研究員 白石 睦弥
2	水災害リスク分析の最大外力設定のための可能最大降水量(PMP)の推定	鳥取大学大学院工学研究科 社会基盤工学専攻 准教授 矢島 啓
3	AR5に向けた将来社会経済シナリオを用いた水関連災害リスクに関する研究	東京大学生産技術研究所 特任助教 木口 雅司
4	地域間代替弾力性に関するレジリエンスファクターの計測	神戸大学大学院工学研究科 市民工学専攻 教授 小池 淳司
5	クライシスコミュニケーションのベイジアンネットワークによる不安計量	京都大学経営管理大学院 特定助教 鄭 蝦榮 (京都大学工学研究科 博士後期課程学生 白承志代理発表)
6	地震/津波/洪水による災害リスクの統合評価とGIS・VRによるリスクの可視化	東京都市大学工学部 都市工学科 教授 吉川 弘道
7	アルカリ材造粒物を利用したヘド口の資源化に関する研究	広島大学大学院工学研究院 社会環境空間部門 准教授 日比野 忠史
8	中小建設業の維持に配慮した建設生産システムのあり方に関する研究	日本大学生産工学部 教授 木下 誠也
9	テラヘルツ方式によるエクストラドーズド橋の健全性診断に関する研究	東北大学 大学院 工学研究科 教授 小山 裕
10	地方自治体が管理する橋梁の損傷と動特性に関する実験的研究	舞鶴工業高等専門学校 教授 玉田 和也
11	震災発生時の避難行動と復興途上の交通運用管理の研究	岩手県立大学総合政策学部 元田 良孝 (福島大学経済経営学類 准教授 吉田 樹代理発表)
12	災害時における被災者への救援物資輸送に関する研究	京都大学大学院工学研究科 教授 谷口 栄一
13	深層崩壊に対応した安全な山村集落の集約再編成計画	奈良女子大学生生活環境学部 住環境学科 教授 中山 徹
14	街路空間構成要素の色彩構成に着目した都市景観整序手法	埼玉大学大学院理工学研究科 環境科学・社会基盤部門 教授 窪田 陽一 (埼玉大学大学院理工学研究科 准教授 深堀 清隆代理発表)